

ふるさと
—あなたと荒尾をつなぐ情報誌—



シロチドリ

Vol.4

市の鳥・シロチドリは渡り鳥です。シベリアから日本を訪れ、翼を休めた後、オーストラリアに越冬します。そんな渡り鳥の飛来地・荒尾干潟は渡り鳥のオアシスです。

祝

かいたつきみこ
海達公子生誕 **100** 周年



祝

グリーンランド
開園 **50** 周年



祝

万田坑世界遺産登録 **1** 周年



祝

そんぶん
孫文生誕 **150** 周年



荒尾市からたくさんのおめでとうが届きました

平成 28 年の荒尾市は、「海達公子生誕 100 周年」、「グリーンランド開園 50 周年」、「万田坑世界遺産登録 1 周年」、「孫文生誕 150 周年」など、めでたい話題が続いた 1 年でした。また、コミュニティ FM である「FM たんと」が開局したり、荒尾市地域おこし協力隊が就任したりと、荒尾の魅力を発掘し、市内外へと発信していく取り組みも始まった 1 年でした。

荒尾が生んだ天才少女詩人 海達公子生誕 100 周年



かいたつきみこ
海達公子

1916年生～1933年没。荒尾北尋常小学校（現・万田小）に入学すると、自由詩や童謡を作り始め、児童文学雑誌「赤い鳥」などに投稿。北原白秋から高い評価を受け、「天才童謡詩人」として日本全国に知られるようになるが、高瀬高等女学校（現・玉名高）の卒業式直後に倒れ、そのまま16歳という若さで亡くなる。その短い生涯の中で5千編の詩と3百首の短歌を残し、ふるさと・荒尾の風景や自然を題材とした作品も多い。



見せにいい
母ちゃんに
目つづつて
みるうち
目にはいつて
ばらの花
まつかい
まつかい
まばら

かいたつきみこ
作：海達公子



昨年8月、海達公子生誕 100 年記念祭を開催しました

万田小3年生によるステージ発表、大正ロマン文学を地域資源として生かすためのパネルディスカッションや童謡コンサートなどが行われました。歌手の大庭照子さん、そがみまこさん、DOYO組さんの透き通った歌声に、観客は聞き入っていました。大牟田からの参加者は、「北原白秋をはじめ、著名な文学者に評価されていることを初めて知りました。荒尾の宝ですね」と話していました。

昨年10月、海達公子をテーマにした創作ステージを行いました

市民みんなで作り上げる舞台を合言葉にして、平成21年度からスタートした、文化センター自主文化事業「創作ステージ・ふるさと詩集」。父・松一の生きざまを通して、演劇、映像や音楽などで「公子像」が描かれ、公子が若くして亡くなり松一が慟哭するクライマックスのシーンでは、観客席からすすり泣く声が聞こえ、父と娘の感動の愛の物語に約800人の観客から惜しみない拍手が送られました。



公子（少女時代）役を演じた馬場なみさん

Interview

今回の創作ステージに参加できてうれしかったです。公子さんは私と同じ小学2年生の頃にもたくさんの詩を書いていたのですごくと思いました。学校のシーンでは友達と一緒に芝居をしたり、歌を歌ったりして楽しかったです。

【関連記事】

広報あらお 10月号 p 14～17 「海達公子特集」、p 4 まちの話
広報あらお 12月号 p 4 まちの話

世界遺産登録 1 周年！ 万田坑フェスタを開催しました



①タレントのスザンヌさんが来てくれました



②たくさんの方が祭りを楽しみました

③どこまで積めるかな？
石炭タワー作り大会



世界遺産登録 1 周年をみんなでお祝いしました

昨年11月、万田坑一帯で万田坑フェスタを開催しました。万田坑世界遺産登録1周年を記念したイベントで、9,000人ほどが来場しました。タレント・スザンヌさんのトークショーやあらお観光大使関島秀樹さんのライブなどで会場は盛り上がりました。万田坑敷地内では、新たな取り組みとして、万田小6年生が子どもガイドとなり万田坑の歴史や魅力を紹介。訪れた人はうなずきながら耳を傾けていました。万田小6年田中優月さんは「ガイドをする前は、万田坑のことがよく分かりませんでしたが、今回の経験を通して世界に誇れる宝なんだとわかりました。皆さんに万田坑の良さを知ってもらえるようガイドを頑張ります」と話していました。

④盛り上がったステージイベント



⑤地元グルメの屋台も出店



⑥万田坑子どもガイド



ぜひ万田坑に遊びに来てくださーい！

【関連記事】

広報あらお 12月号 p 1 「万田坑フェスタ」
【世界文化遺産 万田坑 DVD】
※世界遺産登録決定までの瞬間を収録しています。荒尾市立図書館、荒尾市産業振興課で貸し出し可能です。



白井恒良隊員 (広報担当)



須田賢士朗隊員 (広報担当)



前田道範隊員 (農業振興担当)

前田優隊員 (観光振興担当)

荒尾市地域おこし協力隊は荒尾の魅力を全力で発信中です

荒尾市地域おこし協力隊の5人の隊員は、最長3年の任期のもと、荒尾の魅力を知り、その魅力を伝え広げる活動を日々行っています。

荒尾の魅力、荒尾の情報をFacebook、Instagramで発信中



荒尾市地域おこし協力隊 Facebook



荒尾市地域おこし協力隊 Instagram

地域おこし協力隊活動レポート①



◀昨年7月にグリーンランド開園50周年イベントで、1歳～50歳の人が、一列に並び一緒にテープカットしました。年ごとにグリーンランドの出来事を交えながら一人ひとり紹介され、僕も26歳枠として参加してきました



荒尾の旬な情報をお届けします コミュニティFM「FMたんと」が昨年7月に開局しました!

Interview

木野真由美 (きの・まゆみ)
荒尾市在住のパーソナリティ。担当番組は「お昼どきTANTO(水・金)」。『まゆゆ』の愛称で知られる。荒尾地域のホットな情報を伝えるため、日々奮闘中



10代の頃にイベントのMCなどの仕事をしていた、いつかは声に携わる仕事をしたいと思っていました。担当番組のための取材や、インタビューの編集など、パーソナリティ以外にも番組に携わっています。昨年は熊本地震を経験し、災害情報など、生命に関わる情報を発信するという面でのコミュニティFMの重要性も感じました。ラジオ放送は全国どこからでも聞くことができますので、ちょっと荒尾に里帰りした気分でも聞いてもらえるのが嬉しいですね。方言での放送を聞くと、懐かしい気持ちになれると思いますよ

FMたんと公式アプリ

ただいま公開中です
気になる人は今すぐダウンロード!



インターネット経由で国内外のどこからでも放送を聞くことができます。スマートフォンから右上のQRコードを読み込み、アクセスしてください。



地域おこし協力隊活動レポート②



▲2度マジック釣りをしました。ものすごく楽しかったです。この面白さをもっと多くの人へ!

地域おこし協力隊活動レポート③



▲目標は荒尾で就農すること。移住して農業を営みたい人の支援ができるようになりたいです

地域おこし協力隊活動レポート④



▲観光列車 A 列車を荒尾駅でお見送り。熊本市などから来られた観光客をもてなしました

地域おこし協力隊活動レポート⑤



◀お試し暮らし体験住宅の準備が整いました。移住検討中の皆さんへ荒尾の魅力を伝えたいです

Interview



須田賢士朗隊員 (広報担当)

大牟田出身でしたが、新たな発見や気付きがあり、多くの魅力的な人たちと出会うことができました。2年目からは子どもたちの企画・運営も楽しめるようになりました。幅広い荒尾の魅力を情報発信していきたいです。帰られた時に僕を見かけたら気軽に声をかけてください。

荒尾市のプロモーション映像が完成



荒尾市の魅力を映像で紹介するプロモーション映像を制作しました。物語のキーとなるトランプカード。裏には、宮崎滔天の長男龍介の妻である柳原白蓮の歌が書かれています。どこかミステリアスな感じで進むストーリーは、市ホームページからご覧いただけます。

荒尾の名所で撮影したウェディングフォトをフェイスブックで紹介中



世界遺産の「万田坑」をはじめ、宮崎兄弟の生家施設、荒尾干潟、岩本橋などの市内の名所で撮影されたウェディングフォトを紹介するフェイスブックページを開きました。地元結婚式場の協力により、素敵なロケーションで撮影された幸せいっぱいの写真を紹介していきます。

平成 28 年 荒尾市の主な出来事



さまざまなことが起こった平成 28 年
を荒尾市の出来事で振り返ります。

9月 乗松聖矢選手 銅メダル獲得

牛水在住のウィルチェアラグビー（車いすラグビー）日本代表の乗松聖矢さんがリオデジャネイロパラリンピックで銅メダルを獲得しました。



3月 万田保育園の閉園式

園児（79人）、保護者、地域住民など200人ほどが参加し、1953（昭和28）年から63年の歴史を刻んだ園との別れを惜しみました。



- 4月 熊本地震発生
- 7月 FM たんとが開局
- 7月 グリーンランド遊園地開園 50 周年
- 7月 荒尾高理数科、「中国・四国・九州地区理数科高校課題研究発表大会」で最優秀賞受賞
- 8月 海達公子生誕 100 年記念祭開催
- 11月 万田坑世界遺産登録 1 周年記念事業「万田坑フェスタ 2016」開催
- 11月 市役所本庁舎にエレベーター設置



熊本地震発生



FM たんとが開局



荒尾高理数科が最優秀賞受賞



市役所本庁舎にエレベーター設置

ふるさとの応援をお願いします！ 荒尾市ふるさと応援寄付金

「生まれ育ったふるさとを応援したい」「関わりが深い地域に貢献したい」という、あなたの思いを「荒尾市ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）」として、荒尾市の発展のために大切に活用させていただきます。

●寄付の状況（平成 29 年 2 月末現在）

事業活用の種類	件数	金額
歴史・文化振興	47	106 万 9 千円
地域の元気づくり	23	47 万 0 千円
子育て支援	75	182 万 9 千円
生きがい・医療・福祉支援	64	278 万 500 円
自然・環境保全	25	51 万 5,500 円
市長におまかせ	162	1,209 万 511 円
合計	396	1,875 万 4,511 円

寄付の申し込み方法

寄付金申込書のほか、市ホームページからも申し込みできます。ふるさと納税ポータルサイト（ふるさとチョイス）から申し込みいただくと、クレジットカードでのお支払いもできます。

寄付金控除が受けられます

寄付した額のうち 2 千円を超える分は、おおむね個人住民税所得割額の 2 割を限度に控除されます。

お礼の品も用意しています

荒尾市外在住者で 1 万円以上の寄付をした人に荒尾の特産品をお贈りします。20 種類程度から選べます。



荒尾の和系 半袖



まるごとあらおセット

企画課企画課企画統計係 ☎ 0968-63-1274

Eメール：kikaku@city.arao.lg.jp

孫文生誕 150 周年記念事業

孫文生誕 150 周年記念事業の映画「1911」上映会と県立劇場館長の姜尚中さんの講演会が文化センター大ホールで行われました。姜さんは、「孫文と宮崎滔天の友情の歴史～孫文が訪れた荒尾の地～」と題して講演を行い、会場の 700 人に向けて熱く語りました。

宮崎兄弟資料館では企画展「孫文と荒尾」を開催し、孫文と荒尾の関係を当時の史料から紹介しました。来館者は、「こんな史料があるとは驚きました」と話していました。



これからの「あらおの水」のために



市から水道事業の包括委託を受けた「あらおウォーターサービス株式会社」が業務を開始しています。業務範囲の広さから先進的な取り組みとして注目を浴びています。今後は、民間事業者のノウハウを活用し、水道施設の老朽化対策、職員への技術継承対策など事業経営に大きく影響を与える課題について取り組んでいくこととなります。

心を一つに「うつくしい熊本」へ



文化センターは開館 30 周年記念事業で文化講演会を行いました。県立劇場館長の姜尚中さんと映画監督の行定勲さんが熊本地震のことや、同時上映されたくまもと映画プロジェクト『うつくしいひと』について講演しました。大ホールは満席で、参加者は「また早くきれいな熊本に戻ってほしい」と話していました。

荒尾駅で A 列車をお見送り



JR 荒尾駅で、「A 列車で行こう有明海周遊『世界文化遺産』の旅」ツアーの参加者を見送りました。同ツアーは、万田坑や三角西港など世界文化遺産を、特急「A 列車で行こう」やバス、船を使って巡るツアーです。マジックキーも駆けつけ、荒尾市盛り上げ隊炭坑ガールズの元気よい歌とダンスでツアー参加者をもてなしました。

南阿蘇村へ文化財標柱を返還



熊本地震で被災し、その後の大雨で流されたとみられる南阿蘇村の文化財を示す標柱が蔵海岸で発見され、南阿蘇村へお返ししました。この標柱は、南阿蘇村の床瀬川に架かる石橋「床瀬川橋」の近くにあったものです。南阿蘇村の藤岡教育長は、「復旧したら、蔵海岸で発見された」と記し、同じ場所に掲示したい」と話していました。

NHK のど自慢 全国に生放送



文化センターで NHK のど自慢を開催しました。前日の予選には、250 組が出場し、勝ち抜いた 20 組の出場者とゲストの冠二郎さん・椎名千子さんの熱唱の様子が、全国に生放送されました。荒尾での開催ということもあって、炭鉱マンの姿で歌う出場者も登場し、会場は大いに盛り上がりしました。

荒尾駅前活性化への起爆剤に



荒尾商工会議所青年部は、駅の利便性向上と駅前の活性化を推進することを目的に、プロローグ広場（駅前駐車場）の入口に看板を設置しました。橋本茂樹会長は、「熊本県の玄関口である荒尾駅前を元気にしたい」と思い、この看板を設置しました。これからみんなで駅前を盛り上げていきたいと思います」と意気込みました。

みなさまへ

この度、市民の皆さんをはじめ各方面からの温かいご支援を賜り、市長に就任させていただくことになりました。市長としての私に寄せられた期待と責任の重さを感じ、身の引き締まる思いです。

私は、「あらお未来プロジェクト」を掲げ、将来を担う子どもたちへの投資として、小学生の給食費無償化や教室へのエアコン設置などを進め、子育て世代の負担軽減、子どもの学習環境の改善に力を入れていきたいと考えています。

また、競馬場跡地の活用や有明海岸沿道路の整備促進など地域経済の成長に向けた取り組みを進め、最終的には、健康長寿の暮らしが実現できる地域を作り上げていきたいというのが私の夢です。

県北の玄関口として、「住みたいまち」「訪れたいまち」を目指して頑張っていきますので、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



荒尾市長
あさだとしひこ
浅田敏彦



まだまだ！ 荒尾市ではこんなおめでとうがありました



荒高理数科生が有終の美を飾る

最後の荒尾高校生たちが、昨年7月に徳島県で開催された、中国・四国・九州地区理数科高校課題研究発表大会に県代表として参加し、最優秀賞に輝きました。ことし5周年を迎えるラムサール条約登録以来、研究を続けてきた荒尾干潟の底生生物をテーマに発表し、県内初の快挙でした。南関高校との再編・統合により、ことし3月で閉校となりましたが、荒尾高校理数科は確かな足跡を残してくれました。



ド迫力の作刀見学が日本一の快挙

昨年3月に東京・浅草で開催された「NIPPON QUEST AWARD」において、松永日本刀剣鍛錬所の『日本刀作刀見学』が、アクティビティ部門のグランプリを受賞しました。「NIPPON QUEST」とは、全国のふるさと名物を紹介するWEBサイトで、地域を愛する日本人と、日本が大好きな外国人が「モノ」「食」「アクティビティ」の3分野で、ふるさと名物を投稿、評価するサイトです。

語

KATABU 編集後記

身近にありすぎて気付かないこと、つてよくありますよね。市内には、多くの特別観覧席が存在しているのではないのでしょうか。我が家は、三等観覧席くらい？高く上がった花火はよく見えます。労せずしてきれいな花火を鑑賞できるのも荒尾市の大きな魅力の一つだと思います。これからは各種広報媒体を活用して荒尾の魅力を発信していきます！(吉田)

昨年は荒尾市にとっておめでたい話題がたくさんありました。しかし、熊本地震も忘れることができない出来事でした。幸い、荒尾市では大きな被害は報告されませんでした。「がんばろう熊本」を合言葉に、これから熊本の復興に向けて尽力していきます。グリーンランドが開園して50年を迎えました。幼少期の思い出がグリーンランドともにある人も多くはないでしょうか。日々の生活の中で、ふと疲れた時は、羽を休めに荒尾へ来ませんか。古里はあなたを全力でおもてなしします。(山本)